

1、藩国内における大規模不正に関して

現在、藩国内において大規模な不正行為が行われていることを確認いたしました。緊急対応として政庁内部、警察組織及び藩国内のすべての公共に関わる団体に対し立ち入り検査が行われています。

立ち入り検査を行っているのは、藩国内から藩王及び直属の検査チーム。そして藩国外の協力者として宰相府関係者やI S Sにも参加いただいております。

本件解決までの間、戒厳令を敷かせていただきます。

藩王以下、関係者全員大変深く反省し、問題解決と再発防止への取り組みを急いでおります。藩国にお住まいの皆様については大変お怒りかと思われませんが、早急な解決と再発防止への取り組みを見ていただきご理解いただければと思います。

緊急対応について
政庁、警察組織、及び公共に関わる団体すべてに対する立ち入り検査が行われております。
例外はありません。
検査を行う我々も改めて宰相府よりの検査を受ける予定です。

今回の不正に関わった者は、顔、氏名、罪状、為すべき償いを公表します。本情報は国民の皆様がいつでも確認できるようにいたします。為すべき償いについては、為した罪により子供が受けた不幸を基準としてその10倍子供達を幸福にする事が為すべき償いとし、今回課された償いに対し、実現の目処がつかない場合には国外追放及び愛鳴之藩国への入国禁止となります。また、本償いが個人の責任範囲を大きく上回る場合宰相府への引渡しなど、適切な処罰が下るよう致します。

被害を減らし、子供達の不幸を止める為
今回の検査へ協力して頂く事は償いの第一歩です。
積極的な協力をお願い致します。

また、身の危険を感じた方の為に
藩国外協力者の協力を得つつ
政庁付近に安全の確保ができる場所を作っております。
身の危険を感じた方は遠慮なく避難ください。

再発防止について
・警察組織再編
今回最も大きな問題を抱えていた警察組織については一度解体し、再編成いたします。
適切な内部監査組織を設けると共に
日々の行動が説明責任を十分満たせるようにしていく取り組みも行っていきます。
その際、人事や不正の再発防止に向けた取り組みに関しては第三者視点として宰相府の指導を受けつつ適切なものを構築していく予定です。

・公共に関わる団体への定期監査の実施
すべての公共に関わる団体は、今後定期的に宰相府からの定期監査を受ける事となります。藩国に関わる公共団体それぞれが継続的に自身の行動を見つめなおし、日々改善活動を行うだけでは十分ではないと考えられる為、第三者の目から見た公平な意見を頂き、より良い組織となっていく為の活動として、宰相府へ定期監査のお願いしてまいりました。
我々は第三者から見ても適切で、より良い組織となれるよう努力していきます。

・藩国内査察組織の編成
藩王直轄組織として、藩国の公共に関わる団体の監査・査察・検査を専任で行う査察組織を編成いたします。
子供達のことを思い大切にできるメンバーを選抜き、日々よりよき方向へ変化していけるよう努力していきます。

・告発者の実質的な保護
不正に関わる告発については最大限の保護と権利保障が行われるよう配慮いたします。先に述べた藩国内査察組織の支援のもと、藩王責任において保護いたします。貴方の一言が子供達を幸せにします。ご協力ください。

罪を負った人々について
更正の意思ある限り、その心に誇りが残っている限り絶対に見捨てません。
罪は消すものではなく償うものです。
その心に誇りが再び戻る事、強く願います。

2、住民支援について

就職支援活動

他に現在、就職でお悩みの藩民の皆様には職業体験施設を改めて
ご紹介させていただきます。
子供のみならず楽しみながらいろんな職業を体験して
世界を広げていけるように大人の方も同様にご自分の力を発揮できる
場所を増やすことができます。
今後、新たな職業も追加予定ということだそうなので皆さん、
ぜひ足をお運びになってその目、その手で直に触れてみてください。

母子家庭、父子家庭への職業斡旋

母子家庭の皆さん、父子家庭の皆さんの負担を少しでも減らす為
皆さんの中で在宅勤務や住居の至近でできる仕事を希望する方へは
優先して仕事を斡旋致します。
少しでもお子さんとの時間を多くとれるように我々も協力していきますので
御申告ください。

住宅支援

藩国第四・五層にある新住居層にある国営住宅を始め、
就職でお困りの藩民の方・母子家庭の方などは藩庁に届け出て就職支援とともに
住居も優先してご提供させていただきます。
健全で明るい未来は充実した仕事と余暇を過ごしていく先にあるものだと思います。
藩国は藩民の皆さんが子供たちにそういった背中を見せることができるよう
これからも努力していきます。

ボランティアの振興

子供達がより安心して遊べる国を目指す為には
皆さんの協力が欠かせません。
各地域で、隣人と、町内の方と、100件先の家まで友人となり
気軽に挨拶しあい、雑談できる関係を作り上げて行きたいと思えます。
そこで身近な所では地域の掃除や日曜教室、ボランティアイベント、
大きなものでは医療ボランティア、福祉ボランティアや
災害復興支援ボランティアなどへ、支援を行っていきます。

地域組織の振興

住所区分に応じて町内会などの地域密着型組織を組織・支援します。
これは住民同士の相互扶助とともに公共・教育・防犯・防火・防災活動における
地域コミュニティの核となって頂き、国民と藩国で力を合わせ
安全で快適な国を作ることに参画していただきたいと考えます。

僧侶さんの道徳のお時間（大人版開講）

ボランティア活動として僧侶さんたちによる子供たちへの道徳のお時間といった活動を
社会規範普及の一環として、大人の藩民の皆さん向けに門戸を開くこととなりました。
揺れ動く世界の動向に戸惑うことなく生活していけるように、といった目的です。

3、治安に関して

子供達の家出に対する対応強化。
現在の家出が非常に多くある現状は、
子供達の幸せを願うものとして看過できません。

藩王直轄組織として「子供相談室」「大人相談室」を設置し
子供達の側、大人の側双方から支援していきます。
愛鳴之藩国においては子供の家一つ一つが大事件である事を再認識し
特別捜査本部を設置する事も含め、よりいっその調査を行なっていきます。

「あいさつで子供を守ろう！」キャンペーン
町内会等を通じ案内しております「あいさつで子供を守ろう！」キャンペーンですが、
国民の皆様には、子供たちの登下校時には街頭に出てください、
おはよう・おかえりの挨拶とともに子供たちの動向を見守り、
不慮の事件から子供たちを守ることに協力いただけますでしょうか。
もし事件・事故、不審な人物等を目撃した場合は
「子供・大人相談室」にご連絡ください。
また藩庁よりパトロール隊を派遣し子供たちが立ち入りそうな
遊び場、繁華街、公共施設の巡回を行います。
こちら町内会の有志を募っております。
藩庁に申し出頂ければ情報交換や設備の貸与等便宜を図らせて頂きます。
子供たちを守ることができるのは私たちだけです。
全ての子供たちは私たちの子供として分け隔てなく見守りましょう！

「ぼくとわたしの10のやくそく」
小さな子供たちには、学校で下記のようなパンフレットをもとに防犯教育を行い危険を理解させます。
各ご家庭でもお子様と防犯について話し合いを持って頂ける様お願い致します。

/ * /

- 「ぼくとわたしの10のやくそく」
- ・自分の名前、住所、電話番号が言えるようになります。
 - ・お金がなくても公衆電話から電話をかけられます。
 - ・一人で留守番をする時は、知らない人が来ても絶対に扉を開けません。
 - ・遊んだり、学校へ行ったりする時は、友達と一緒に行動します。
 - ・暗くなる前に家に帰ります。
 - ・知らない人からさそわれても、付いて行きません。
 - ・知らない人から物をもらいません。
 - ・知らない人に乱暴されそうになったら、大きな声を出して走って逃げます。
 - ・危ないことにあったりあやしい人を見かけたら、すぐに大人に報告し110番します。
 - ・知らない人の車には乗りません、乗せられそうになったら車の後ろの方に走って逃げます。

/ * /

4、産業について

藩国の政策として教育、医療、福祉分野へ引き続き税率面などの優遇措置を図っていきます。
医療・福祉分野については治安維持・災害対策の側面からも必要性があり、
教育分野に関しては国是に直結する重要な課題であるとして今後もとらえていきます。

5、公共組織の改善活動

みんなのデザイン導入
愛鳴之藩国では、年齢、性別、ライフステージ、健康状態に関わらず
どんな人でも使いやすい「道具」「施設」のデザインを
公共施設、公共設備などに順次導入して行っています。
バリアフリー、ユニバーサルデザインなどいくつかの表現はありますが、
愛鳴之藩国ではこれらの事を「みんなのデザイン」と名づけて
少しでも皆さんが過ごしやすい藩国となるよう努力いたします。
他に先駆けてみんなのデザインが導入された藩国の路面電車も好評なようなので、
政庁や他の公共機関にも順次展開しています。
路面電車設定：http://idressplayer.at.webry.info/200809/article_3.html

6、おしらせ

T.D.K.Bさんの放送が聴けるようになりました。
難民支援活動を応援されている放送局です。
<http://www7.atwiki.jp/tsuduki2/pages/23.html>

帝国環状線が愛鳴之藩国にも連絡する予定です。
藩国を縦横する路面電車との接続となる予定です。
帝国環状線の敷設決定による経済波及効果は未知数ですが
物資・人員の往来が増加する見込みから観光地や商店街はがぜん、活気づいているようです。